

「貨幣」に触れる

きつかけづくりを目指して

■女性来場者が増加

2019年コイン・コレクション・フェア（CCCF）へ多くの方のご来場、誠にありがとうございました。今回は品川プリンスホテルのメインタワーで開催し（今年34階、36階）、即売会を初日と2日目の2日間、研究会を2日目、そして3日目はオークションのみで行いました。

今回の来場者数は、左のとおりです。

『今年の来場者数』	
・初日（金）	463人
・二日目（土）	377人
（二日間合計 840人）	
『昨年の来場者数』	
・初日（金）	359人
・二日目（土）	324人

（二日間合計 683人）

来場者数は昨年よりも増加しました。ただ、昨年は台風の影響があったことを考慮すると比較すべきは一昨年かもしれません。ちなみに一昨年は合計850人でしたので、今回の結果はほぼ例年通りといえるでしょう。今回は会期が8月ということもあり最高気温が35度を超える、まさに真夏の中で開催となりましたが、多くの方々にお越し頂きました。誠にありがとうございました。厚く御礼申し上げます。

また今回は女性が多く来場されていたように感じました。詳しい数字は出ておりませんが、前年までは無かった変化です。

今年も来場された方にアンケートのご協力をお願い致しました。結果、442名に回答いただけま

した。ありがとうございます。早速、昨年の結果（293名の回答）と比較してみたいと思います。まず、442名のうち、来場の経験をまとめたものが左になります。

『CCCFへの来場の経験』

・初めて	111人
・初めてではない	286人
今回もある程度の方が初来場されています。先に述べた通り、女性来場者が増えた感がありますので、新たな層が参加されていたのだと考えられます。	
次に当イベントを知った媒体を左にまとめます。	

・コイン店	50人
・知人	45人
・新聞広告	70人
・『収集』	128人

『収集』ホームページ
 ・DM・チラシ
 ・その他（別の催事等）
 15人 96人 75人

続いて回答者の構成分布です。

『年齢構成』

・19歳	6人
・20～29歳	10人
・30～39歳	30人
・40～49歳	64人
・50～59歳	113人
・60歳以上	202人

『収集歴』

・1～5年	66人
・6～10年	47人
・11～20年	42人
・21～30年	62人
・31年以上	181人

『収集のきつかけ』

・自宅に古銭があったので	235人
・古銭関係の書物を見て	51人
・古銭店で古銭を見て	75人
・海外旅行	11人
・即売会で古銭を見て	51人
・知人に勧められて	32人
・その他（歴史への関心等）	34人

年齢構成の割合にはそれほど変化は見られません。収集のきつかけは「自宅に古銭があったから」



低額品売場の様子



日本近代銀貨研究会の様子（8月3日）

分朱金	21人
安南銭	42人
地方貨	23人
丁銀・豆板銀	75人

一八〇〇年以前の外国貨

鏢銭	32人
外国古代貨幣	47人
一朱銀	42人
大判・小判	45人
新寛永	45人
一分銀	51人
古寛永	49人
中国古文銭	36人
中国歴代銭	32人
一八〇〇年以降の外国貨	81人

2019CCFオークションへも多数の方にご参加頂き、誠にありがとうございました。落札総額は約8千万円でした。落札結果は90頁からをご参照ください。

■オークション

低額品(三、〇〇〇円以下)のコーナーは今年も盛況でした。今回はご用意出来た総点数は前回には及ばなかったものの、売上は前回並の約150万円となりました。ありがとうございました。

■低額品コーナー

低額品(三、〇〇〇円以下)のコーナーは今年も盛況でした。今回はご用意出来た総点数は前回には及ばなかったものの、売上は前回並の約150万円となりました。ありがとうございました。

が圧倒的多数でした。

「貨幣」はこれからキャッシュレスの時代へ進んでいくことで、徐々に私たちの視界から消えていくことになるかもしれません。「貨幣」を多くの方に実際に手に取って知ってもらい、その魅力に気付いてもらうにはどうすべきか。「貨幣」を目にする、あるいは「貨幣」に触れるきっかけづくりを弊社は今後、収集家、業者とともにつっていきたく考えます。

次に、普段古銭をどこで購入するのかと質問しました。

「普段の古銭購入先」

- ・貨幣商店頭 233人
- ・即売会 145人
- ・フロアーオークション 113人
- ・入札誌 117人
- ・インターネットオークション 107人
- ・同好会、知人 83人
- ・貨幣商店頭が一番多く、その他はほぼ同程度でした。いまや古銭

の買う手段は多岐にわたるといことでしょうか。同好会(古銭会)や知人を介してが一番率が低いというのが、現代を示しているのかもしれない。次に回答者が現在収集されているジャンルをまとめると左のようになります。

朝鮮穴銭	19人
皇朝銭	36人
絵銭	27人
藩札・私札	27人

日本の近代貨幣、記念貨幣、現行貨幣は当然ながら高い人気です。その一方で、この結果はどのジャンルも満遍なく収集家が存在していることも示しています。

ご記入いただいたアンケートはすべて目を通し、今後に生かしていきます。